

ぱれっと

9 2013
月 No.169

“ぱれっと”には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。

sapo

NPO 法人 greenbird といっしょに
NPO 活動お試し体験企画！



P2 ～ P3

協働 のまちづくり SENDAI ▷

協働の現場から～ FEEL Sendai と各団体の取り組み～

P4

つながる つなげる サポセン ▷ NPO 活動お試し体験企画

P5

シニア横丁日記 ▷ ボランティア活動の素晴らしさに気づかされて

P6

仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ



社会の課題を解決するためには、市民・企業・行政が連携して取り組む“協働”が重要です。仙台の市民活動における協働の事例や関連情報をお伝えします。

協働の現場から～ FEEL Sendai と各団体の取り組み～

2013 年 8 月号で、あらゆる主体のパートナーシップで環境教育・学習を推進している事例として紹介した FEEL Sendai（杜の都の市民環境教育・学習推進会議）。今月号では、その現場にお邪魔して、FEEL Sendai と団体による取り組みについて取材しました。

現場その 1

せんだい環境ユースカレッジ

若者の環境学習の場を協働で提供

公募で集まった若者を対象に、環境についての座学と環境 NPO での活動を経験してもらう「せんだい環境ユースカレッジ（以下、ユースカレッジ）」。

座学では、大学や FEEL Sendai の構成団体が講師を務め、環境 NPO が活動体験を受け入れています。

ユースカレッジ受講生の活動体験の一つ、8 月 3 日（土）に開催された「夏のいぐねの学校」（仙台いぐね研究会ほか共催）の様子を取材しました。

「夏のいぐねの学校」は、「いぐね」での生活を体験することを通して、今の暮らしを見つめなおす学習プログラムです。「いぐね」とは、仙台平野で見られる昔ながらの屋敷林のことで、強風や火災から屋敷を守るだけでなく、成長した木々は家の柱や床板などの建築材に使われるなど、様々な利用されてきました。今では珍しい「いぐね」に囲まれた国重要指定文化財「ほらぐち洞口家住宅」（名取市大曲地区）を会場に、子どもたちが田んぼでの生き物調査、枝豆



の収穫、草木染体験などを行いました。

ユースカレッジの受講生たちは、仙台いぐね研究会のスタッフたちと一緒に、子どもたちの生き物調査をサポートしたり、子どもたちが収穫した枝豆をずんだに加工したりしていました。



ユースカレッジ受講生たちの参加動機は様々です。大学の授業で環境に興味を持ち参加した人、就職活動の前に学校以外の活動に参加してみようと思った人など、学校も異なる多様な学生たちが集まり、交流しながら環境についての学びを深めています。「夏のいぐねの学校」でも、同世代の仙台いぐね研究会のスタッフたちの行動力に刺激を受けながら、初めての活動体験を楽しんでいました。

現場その 2

環境社会実験 未来プロジェクト in 仙台

FEEL Sendai が公募で委託事業を募集

市民団体等から環境配慮行動を広げていけるような企画を募集し、FEEL Sendai が社会実験として委託する「環境社会実験 未来プロジェクト in 仙台（以下、未来プロジェクト）」の 2013 年度委託事業の一つ、NPO こよみのあしおと（以下、こよみのあしおと）の「農作業＋写真教室」イベントが 8 月 18 日（日）に開催されました。3 年前に入門編の「環境の芽」部門で事業をスタートさせたこよみのあしおとは、昨年度には本格的に環境社会実験に取り組む「環境

の樹」部門にステップアップし、今年度はその内容をさらに市民へ広める「農作業+写真教室」へと拡大し、委託事業に採択されました。

こよみのあしおとは、農薬をできるだけ使わない農家さんのお手伝いを通して「地球にやさしい農業」について学んでいこうという団体で、ユースカレッジの卒業生も 2 名在籍しています。FEEL Sendai の報告会でお互いに興味を持ち、話をしたのがきっかけで、活動に参加するようになりました。

これまで、未来プロジェクトの一環で農作業体験のイベントを継続的に実施してきましたが、農作業体験だけでは、農業に興味がある人の参加しか見込めません。そこで、デジカメやスマートフォンの普及で「写真をうまく撮りたい」と思っている人が増えていることに目をつけ、プロのカメラマンに指導してもらえる写真教室と農作業体験を一緒に行うイベントを企画しました。写真教室で撮影した写真は、市内のギャラリーやカフェなどでの展示を予定しています。

当日集まった参加者は 20 名余り。写真好きの人



や、スマートフォンでの画像の撮り方を教えてもらおうと参加した人など、参加者の 4 分の 3 が初参加ということで、狙い通りでした。4 年間の委託事業で活動基盤を整えたこよみのあしおとは、自立的に

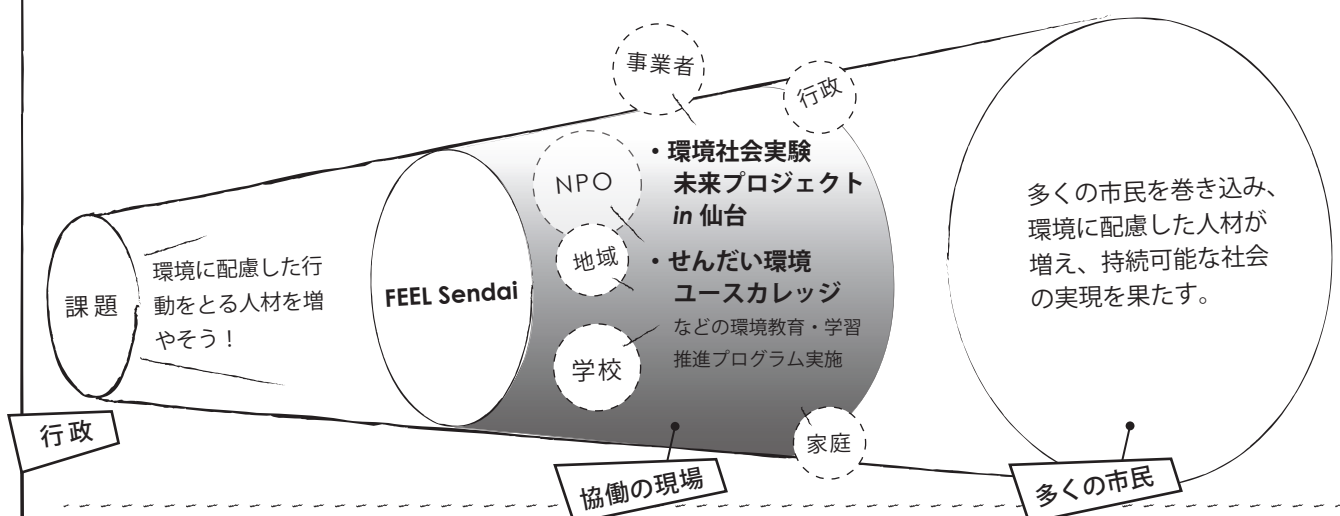


活動をステップアップしていくことを考えています。未来プロジェクトを通して団体が成長し、活動が広がっていく一例となることでしょう。

(太田貴)

協働のポイント

環境や教育に携わる、個人・市民センター・学校・NPO・事業者・行政等の委員で構成されている FEEL Sendai。ユースカレッジや未来プロジェクトなど、環境 NPO と協働で取り組むプログラムの現場には、FEEL Sendai 委員の姿が見受けられます。委託して終わりではなく、必ず現場で一緒に体験をする姿勢が協働相手との対等な関係づくりにプラスとなっています。



▷ 仙台いぐね研究会

代表：小金澤 孝昭さん

TEL：022-214-3386（宮城教育大学小金澤研究室内）

Mail：igune2007@yahoo.co.jp

▷ NPO こよみのあしおと

代表：久保田 歩さん

TEL：080-6027-7836

Mail：lets_koyooto@yahoo.co.jp（事務局）

<http://ktmhp.com/hp/koyominoashioto/>

つながる
つなげる
サポセン

NPO 活動お試し体験企画

退職後に、地域や社会で何かの役に立ちたいと考えるシニア世代は少なくないと言われています。でも、どうすれば自分が役に立てるのか分からないという人が多いようです。何か始めることに照れくささを感じたり、勇気が必要だったりする人も多いと聞きます。

そのようなシニアの方を対象に、仙台市シニア活動支援センターでは、身近なところで簡単に参加でき、みんなで活動できる「ごみ拾いのまち美化活動」を、体験してもらう機会をつくりました。

sapo

はじめの一步を踏み出そう！

今年度 1 回目の NPO 活動お試し体験
「まち美化活動」を実施しました！

8 月 31 日 (土) 10:00 ~ 12:00

市民活動サポートセンター 1 階に集合した総勢 5 名の精鋭隊。ごみ拾い活動は初めてという方も多く、案内人の NPO 法人 greenbird 仙台チームの太田貴さんから、活動を行うにあたっての諸注意を受けたあと、ごみ拾い活動へ出発！サポセンから三越までの東二番町通りを往復しました。

案内人は、
NPO 法人 greenbird
(グリーンバード)
仙台チーム 太田 貴 さん



市民の方から
「ごころうさま！」
と声をかけてもらい
嬉しかったですね。



sapo

Let's enjoy!

参加された方々は、「思ったよりタバコの吸い殻が多くてびっくりしましたが、拾うときれいになるので楽しくなってきました」、「ごみを拾いたくても一人では恥ずかしくて…一緒に活動に参加できて良かったです」と、実際に体験してたくさんの気づきがあったようです。今後も、地域や社会のために自分ができることを見つけ、積極的に行動されることを期待しています。

自分たちの住む街をもっとキレイにしたいと思った方は、こちらをチェック！

▷ いつでも誰でも参加できる「アレマ隊活動」

ホームページ内には、どなたでも参加できるボランティア清掃情報が一覧できる「アレマカレンダー」があります。実際活動をするときに必要な道具の貸し出しも行っています。ご活用ください。問合せ先は、仙台市環境局廃棄物管理課まで。

TEL : 022-214-8250

<http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/kankyo/machibika/index.html>

▷ NPO 法人 greenbird (グリーンバード)

「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに、仙台チームは、毎月「仙台そうじ」を行っています。集合場所は、仙台市市民活動サポートセンター。道具は用意しますので手ぶらで OK。動きやすい服装でご参加ください。

詳しい日程は、ホームページでご確認ください。

<http://www.greenbird.jp/team/sendai/>

まだ・これ

シニア
横丁図記

「シニア横丁」は、まだまだ、これから！ 50 歳後半からのセカンドライフに意欲を燃やす人や情報が集まる場所。これから新しい一歩を踏み出そうとしている方は、ちょっと寄っていきませんか。

ボランティア活動の素晴らしさに気づかされて

技能ボランティア海外派遣協会 (NISVA)

アドバイザー

あがつまたかし

我妻 孝さん

こうこ

我妻 凰子さん

今回ご紹介する我妻孝さん、凰子さんご夫婦は、技能ボランティア海外派遣協会 (NISVA※) から派遣され、2年間フィリピンのルソン島スワル村でボランティア活動を行ってきました。その体験を一人でも多くのシニア世代に伝えたいと、ボランティア体験発表会を市民活動サポートセンターの一室で開催したのが2012年10月。現在も、定年後のセカンドライフの過ごし方の一つとして、海外での社会貢献の仕方を広める活動を続けています。



海外での貴重な経験

在職中から、旅行が好きで夫婦で国内外を歩きまわっていた孝さん。50 歳になり定年を意識し始めた頃から「退職後は、海外でのんびり暮らそう」と、漠然と思い描いていました。そんな時「あなたの経験や技能・知識を海外で生かしませんか」という NISVA のボランティア募集を見つけたのです。「これだ!」と、思った孝さんは、さっそく資料を取り寄せ、派遣希望者として登録しました。

そして2010年から2年間、女性の生活自立支援のため、夫婦でフィリピンで活動することになりました。というのも、専業主婦として家庭を切り盛りしていた凰子さんの身につけていた縫製技術が、受け入れ先で必要とされたからでした。孝さんは、出来た商品の販売促進支援の担当として一緒に派遣されることになったのです。島では女性たちに技術を教えるだけでなく、現地での材料の調達から始まり、中古の足踏みミシンの調子が悪くなると修理をし、さらには商品のマーケティング調査に至るまで何でもしたと言います。

「女性たちはとても意欲的でしたよ。最初にお給料を渡したときね、初めて美容院に行ってきたっ

ていうんです。うれしかったんでしょうね」凰子さんは、当時まだ 17、18 歳位の女の子たちが、キラキラ輝いている姿が印象的だったと言います。「自分たちの活動が、彼女たちの喜びになったのを見たとき、やってよかったなあと思いました」と、孝さん。「ボランティアをしたつもりなのに、逆に癒され喜びを与えられ、ほんとに感謝しています」。

セカンドライフの選択肢のひとつ

セカンドライフをいかに過ごすかということは、シニア世代の課題。我妻さんご夫婦は、常に二人三脚。旅行という共通の趣味が、ボランティア活動をする喜びへと変わり、生きがいへとつながりました。「海外では日本人のボランティアの力が必要とされています。できる限り発展途上国の人たちの役に立ちたいですね」と、孝さんと凰子さん。これからは機会があれば、海外でのボランティア活動に参加したいと意欲的です。(葛西淳子)

※技能ボランティア海外派遣協会 (NISVA) は、日本財団が海外協力援助事業として設立したもので、日本の優れた技術や技能を必要とするアジアの発展途上国に対し、知識・技能・経験を兼ね備えたシニアを派遣し、地域の発展と住民の生活向上に協力している団体です。HP : <http://www.nisva.org/>

仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ

ハジマル、フクラムプロジェクト vol.3 「手芸」からハジマル、フクラムトークタイム

日時：2013年9月16日(月祝)午後1時～午後3時
会場：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階
参加費：500円(ワンドリンク付き) 定員：15名
ゲスト：リボンヌ手芸部 宮城
五十嵐香織さん 武田和恵さん 上村俊幸さん

お申込み / お問い合わせ：

仙台市市民活動サポートセンター

Tel:022-212-3010 / mail:sendai@sapo-sen.jp

つながる つなげる サポセン

▶仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

▷仙台市シニア活動支援センターとは

シニア世代の地域・社会参加活動を応援していますので、お気軽にお問い合わせください。

▶相談・つながるサロンとは

市民活動サポートセンターとシニア活動支援センターの相談窓口を3階に集約し、じっくりご相談いただける環境を整えました。

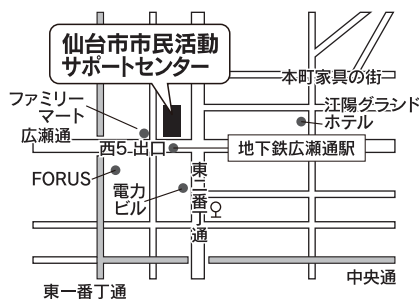
このようなご相談おまかせください

- ・市民活動の立ち上げ、法人格の取得
- ・団体運営、組織運営
- ・復興支援活動
- ・シニア活動、セカンドライフ相談など

相談時間

- ・平日：午前10時～午後8時
- ・日祝：午前10時～午後5時

▷ご案内図



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄りのバス停] 電力ビル前、商工会議所前

[地下鉄] 広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でご来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

[注] 路上駐車・駐輪は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

今回のテーマは、**手芸** です。

Re-born

リボンヌ手芸部とは、障がいのある人が作る物、または施設などで出る材料を再生=Re-bornさせ、社会へとつなげる架け橋プロジェクトです。有志が集まった主に20代、30代の女子たちが、自分たちがほしいものをテーマに材料をアレンジし、商品化しています。地域や社会の課題に対して「手芸」をキーワードに活動する「リボンヌ手芸部」をゲストに、好きなことや自分ができることを地域や社会の課題解決につなげる取り組みについて、お話をうかがいます。「何か始めたい」「地域のために何かしたい」と思っている方、活動を広げたいと思っている方、手芸が好きな方、福祉施設関係者、販売のお仕事をされている方もぜひご参加ください。

● リボンヌ手芸部の活動体験！手芸ワークショップも行います。

▷「ぱれっと」読者アンケート にご協力をお願いします！

サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等で右記の2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



編集後記：

仙台では、猛暑やゲリラ豪雨などのニュースが連日報じられたこの夏。秋の気配が感じられるようになってきましたが、今度は台風シーズンを迎えますので、油断はできませんね。8月30日からは特別警報の運用が開始されました。いざという時のために、日ごろからしっかりそなえておきましょう！

発行：仙台市市民活動サポートセンター

仙台市シニア活動支援センター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

HP <http://www.sapo-sen.jp>

Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>

発行日：2013年9月11日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター

編集人：菊地竜生 菅野祥子 田口博徳 葛西淳子 松村翔子

▽開館時間

平日：午前9時～午後10時 / 日祝：午前9時～午後6時

▼休館日

毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)

及び、年末年始(12/29～1/3)

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間 2010年4月1日～2015年3月31日]